

履歴書・エントリーシート

履歴書・自己紹介書は自己PRの場です。あなたがどんな人なのか、どんな魅力を持っているのかが十分に伝わるように工夫しましょう。また、志望する企業の求める人材を把握し、自分がその企業の求める人材にふさわしいということ、「何をして」「そこから何を得て」

①日付

履歴書を郵送する場合はポストに投函する当日の日付、持参する場合は持参する日の日付を記入します。

②ふりがな・氏名

「ふりがな」という文字がひらがなの場合はひらがなで、カタカナの場合はカタカナで記入します。氏名の字の大きさは他の項目よりも大きくし中央に記入します。

③生年月日

電話番号等の数字も同様ですが、数字は3と8の区別など、慎重にわかりやすく記入するよう心がけましょう。満年齢は①の日付を基準とした年齢を記入します。

④性別

性別の記載は任意です。未記載とすることも可能です。

⑤現住所

郵便番号や都道府県を省かずに、すべていねいに記入します。ふりがなも忘れずに書きましょう。算用数字を使い、番地・号、アパートやマンションの部屋番号も略さずに正確に記入しましょう。

⑥E-mailアドレス

就職活動で使用するメールアドレスは、エントリーシートなどの添付ファイルを受け取ることができるPCメールアドレスを使用しましょう。数字と同様にqとg、uとvの区別など、慎重にわかりやすく書くよう心がけましょう。「o(ローマ字のオー)」と「0(数字のゼロ)」、「1(数字のイチ)」と「l(ローマ字のエール)」、「r(ハイン)」と「_ (アンダーバー)」は特に判別しづらいので、カタカナで注釈するとよいでしょう。

⑦緊急時の連絡先

緊急連絡先が現住所と同じ場合は「同上」と書きます。Uターン就職などで実家に連絡が欲しい場合は、実家の連絡先を記入しましょう。

履歴書	
①	△△△△年△△月△△日現在
②	ふりがな きぼう かな え
④	氏名 希望 香奈江
⑩	性別 女
③	生年月日 △△△△年△△月△△日生 (満△△歳)
⑥	ふりがな ほっかいどうえべつしぶんきょうだいまじりまち
⑤	現住所 〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地
⑧	電話番号 △△△-△△△-△△△△ 携帯番号 △△△-△△△-△△△△
⑨	E-mailアドレス kibou@stu.rakuno.ac.jp
⑦	ふりがな
⑪	緊急時の連絡先 同上
⑧	学歴・職歴
年 月	学歴
△△△△ 4	北海道立〇〇高等学校 入学
△△△△ 3	北海道立〇〇高等学校 卒業
△△△△ 4	酪農学園大学 〇〇学群 〇〇学類 入学
△△△△ 3	酪農学園大学 〇〇学群 〇〇学類 卒業見込み
年 月	職歴
△△△△ 4	なし
⑨	資格・免許・検定・賞など
△△△△ △	普通自動車第1種運転免許取得
△△△△ △	パソコン検定2級取得

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。
記入上の注意：黒インク、楷書、算用数字で記入すること。

⑧学歴・職歴

正式な学校名で高等学校入学から記入します。学群名・学類名も記入し、卒業の記入も学校名を略さずに記入しましょう。職歴は一定の期間、定職に就いたものを記入します。アルバイトは職歴には入りません。

⑨資格・免許・検定・賞など

運転免許や英検・MOS等の資格は略さず正式名称で記入しましょう。資格取得見込のものでも可。年号は「//」と略さずに書きましょう。

⑩写真

スピード写真はNGです。写真館で就職用のカラー写真を撮るのが基本です。服装はスーツを着用。髪型も清潔に保ち、さわやかさを演出するのがコツです。貼り方は、枠からはみ出さないように慎重に貼りましょう。写真がはかれる可能性があるため、写真の裏に大学名と氏名を記入してから貼りましょう。

自己紹介書

⑫	研究室(教室) 〇〇〇〇研究室(〇〇 〇〇教授)
⑬	学業で力を注いだこと(得意科目・分野、ゼミ、卒業論文など)
⑭	学業以外で力を注いだこと(課外活動、スポーツ・文化・ボランティア活動、アルバイトなど)
⑮	趣味・特技
⑯	自己PR
⑰	志望動機

酪農学園大学

「どのように成長したのか」を踏まえながらアピールしましょう。誰が見てもわかりやすいように、適度な大きさと、濃くはっきりと書きましょう。一番大事なのは自分の言葉で書くことです。

自己PR作成は、67ページからの自己分析も参照ください

志望動機作成は、75ページからの業界/企業研究も参照ください

⑰志望動機

人事担当が一番注目している項目です。その企業に入りたいという強い気持ちを伝えましょう。なぜこの業種・企業・職種を選んだのか、自分がそこで何をしたいのか、どのような貢献ができるのかを具体的に自分の言葉で記入します。広告などから受けるイメージや主観的な考えだけでなく、企業研究や会社訪問で得たことをもとにしっかりと調べてから書きましょう。大学生生活を通じて得たことを軸に自分の考えを丁寧に書き、自分を売り込む文章にまとめ上げましょう。

⑫研究室(教室)

研究室(ユニット)の正式名称を記入します。カッコ書きで担当教員の氏名も記入しましょう。
例) 〇〇〇〇研究室(〇〇 〇〇教授)

⑬学業で力を注いだこと

(得意科目・分野、ゼミ、卒業論文など)
テーマを1つに絞って記入すると具体的に伝えることができます。一番自信があり自己PRにつながることを選びましょう。何をどのように、どのくらいやったのかを具体的に記入します。

⑭学業以外で力を注いだこと

(課外活動、スポーツ・文化・ボランティア活動、アルバイトなど)
サークル、アルバイトなどは誰もが取り上げやすい題材です。そこでの目的や継続期間、自分の役割などを記入し自分だけの経験を伝えましょう。面接官に質問して欲しいことを想定し、その質問を引き出すようにまとめるとう自分を知らせてもらうことができます。

⑮趣味・特技

単に「読書」「ドライブ」などとせず、その楽しみ方や経験を説明に加えましょう。好きな作家や実際に行った場所などを書いたり、その経験から学んだ事も具体的に書きましょう。面接で聞かれても返答できるように事実を記入しましょう。

⑯自己PR

自己PRでは「仕事ができる人」を連想させるために、独自の問題解決方法や自分の信念、哲学、確信、ポリシーを自分の言葉で書くことよいでしょう。学業、課題作成などのエピソードは学生の想像以上に企業側は評価します。エピソードは目標を立てて取り組んだこと、困難であってもやり遂げたことなど具体的な体験談を材料にするといよいでしょう。今の自分を伝えるために体験談はなるべく直近のものを選ぶようにしましょう。志望動機に結びつくアピールも有効です。空欄のままにしたり、空白部分が目立つということがないように、自分を最大限アピールしましょう。